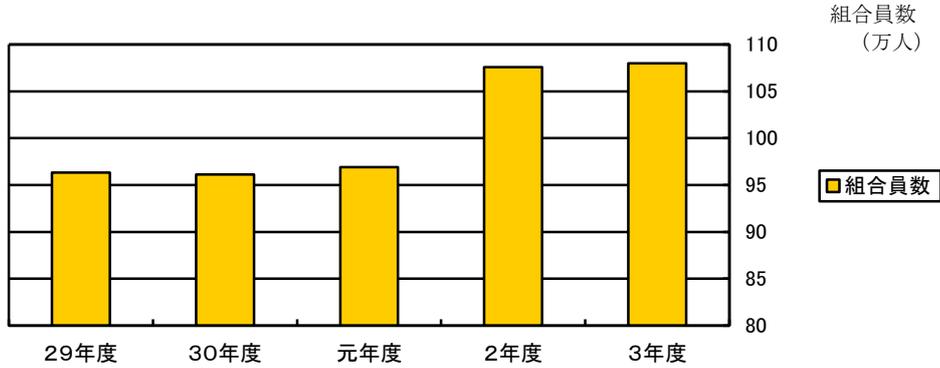


「令和3年度決算」の概要

○組合員数

3年度末の組合員数は107万9,732人で、2年度末より4,005人増加しました。

3年度の組合員数は、会計年度任用職員制度の導入の影響が引き続いていることにより微増となりました。

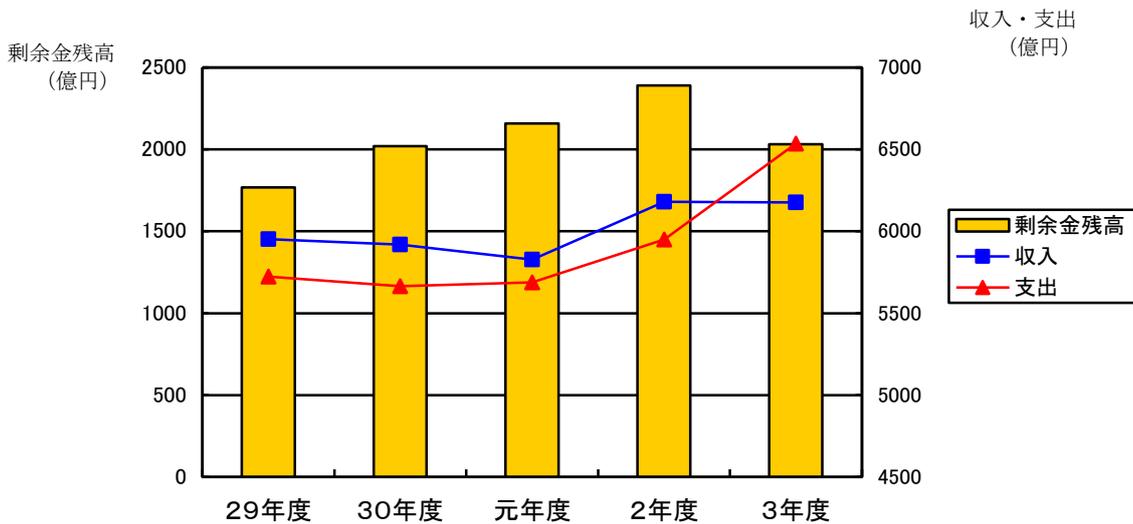


○短期給付事業

収入は、人事院勧告で期末手当の支給月数が0.15月分引下げとなったこと等により、掛金・負担金収入が減少しました。支出は、新型コロナウイルス感染症の影響による医療機関等への受診抑制の解消が進み、保健給付が増加したこと、また、育児休業手当金等の休業給付が増加したことにより、給付額が増加しました。

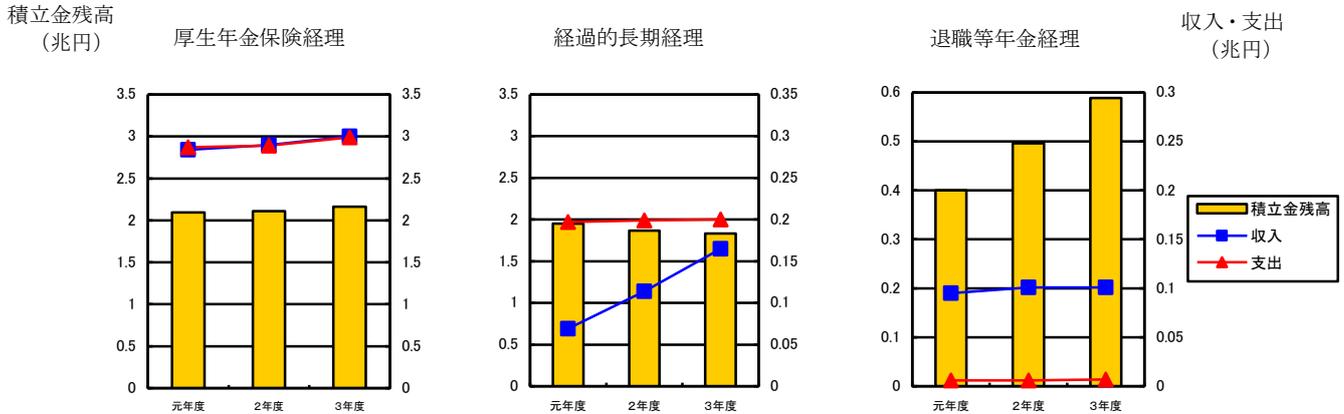
また、高齢者医療制度への財政負担が大幅に増加したため、支出全体で増加となりました。

収支差約358億円を損失金として計上し、3年度末では剰余金が約2,032億円となりました。



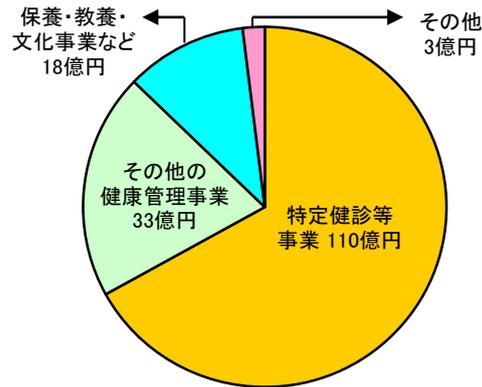
○長期給付事業

3年度末の長期給付事業に係る積立金は、厚生年金保険経理約2兆1,621億円、経過的長期経理約1兆8,313億円、退職等年金経理約5,895億円となりました。



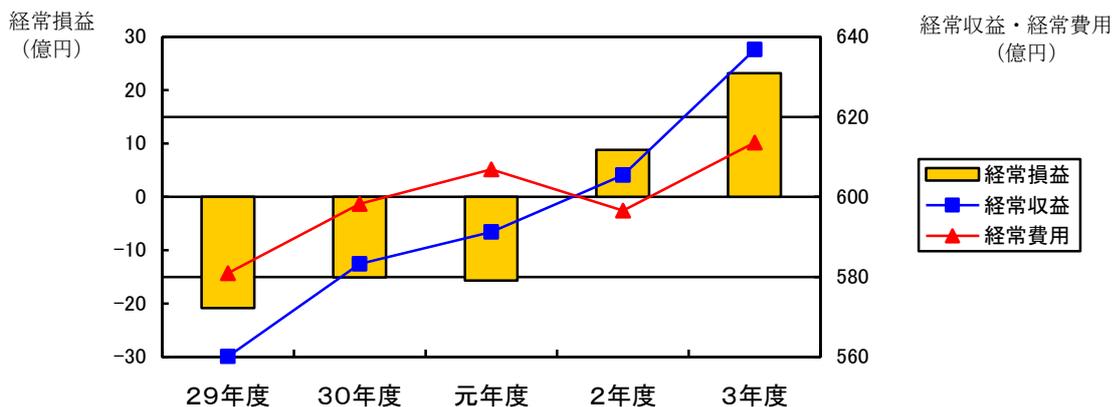
○保健事業

3年度の保健事業全体の支出額は約164億円となり、このうち、組合員とそのご家族の健康管理事業への支出額は、約143億円（支出全体の約87%）でした。



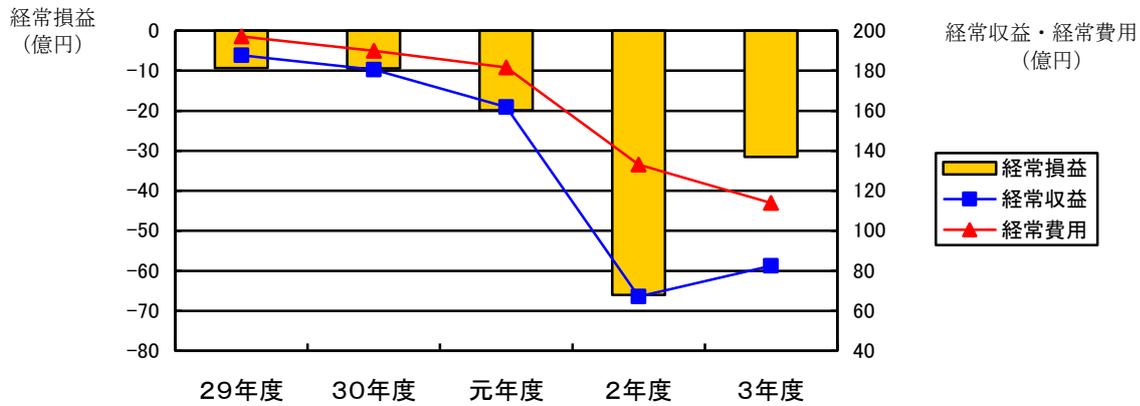
○医療事業

病院全体の経常損益は、患者数の回復や診療単価の増加により診療収入が増加したこと、また、2年度に引き続き新型コロナ関連の交付金等の補助金が増加したことにより、黒字となりました。引き続き、組合員のメンタルヘルス事業の充実を図るなど、職域病院としての役割を果たしつつ、経営改善に努めます。



○宿泊事業

宿泊施設全体の経常損益は、新型コロナウイルス感染症の影響及び緊急事態宣言の発令に伴う人流抑制、自粛の影響が2年度よりも緩和され、収支は改善したものの、赤字となりました。厳しい経営状況にありますが、サービスレベルの向上を図りつつ、経営改善に努めます。



○貸付事業

平成30年1月から貸付金利率を引き下げたことにより、平成30年度に新規貸付件数が一時的に増加しましたが、令和元年度以降は貸付件数、貸付金残高共に減少しています。

